

## 中高年活用むけ会合

### 健康維持の情報共有

両輪会

【東京】安全と健康を推進する協議会(両輪会、作本貞子代表)は18日、東京都トラック総合会館(東京都新宿区)で「人材不足を乗り切るための中高年の活用と安全と健康管理の側面から」をテーマとした会合を開いた。同会合は19回目、初の東京開催。中高年の健康維持に関する情報を共有するとともに、グループごとに自社の高齢化対策について意見交換した。NPO(非営利組織)法人のヘルスケアネットワーク(OCHIS)で副理事長を務める作本代表が「多くの方の協力で東京開催が実現でき、感謝している」とあいさつ。また、中高年ドライバーの事故が続発し

「ドライバーの健康には企業のサポートが不可欠」と作本代表



ている一方、労働力不足の面などから中高年の必要性を指摘した上で、「ドライバーの健康には企業のサポートが不可欠。両輪会を通

じて有用なことを持ち帰って欲しい」と述べた。

梅田運輸倉庫(井上泰旭会長兼社長、大阪市福島区)の岩崎小夜子常務が両輪会の目的と開催の経緯を説明。続いて、作本氏がドライバーの健康起因事故防止に向けた対策などを解説した。

その後、参加者がグループごとに分かれ、各社の高齢化対策の取り組みや課題などを情報交換した。

(土屋太郎)